新工場誘致に反対

陸別木協が町に申入れ

陸別町が誘致をすすめている東亜箸株式会社（本社広島県稲山市）の陸別割箸工場の進出にたいして、東北海道木材協会陸別支部（新谷庄太郎支部長）では六月六日に杉田町長に誘致反対を申し入れました。

反対の理由は地元の木材資源不足のおりから既存木材業界への圧迫になるというものですが、東亜割箸工場はすでに緑町の町立病院近くに用地を選定して七月から建設にとりかかり、本年十月には操業開始の段取りになっており、婦人に手ごろの軽作業なので勤務希望者も多く、町としての過疎対策と職場拡大が木材業界とのマサツをきたした形となりました。

同工場では一日一千石程度の素材を必要とするそうですが、新得工場の例では地元からは二〇%程度で大半は工場所在地の一五〇キロ圏内から集材しているといわれます。

財産処分と除名

波乱の開協総会

（前号からつづく）

足寄町開拓農業協同組合の才二十四回通常総会での後半のもようはつぎのとおりでした。

ー開拓財産は個人配分のクイをうってあるので、個人配分を願いたい

菅原総務部長　四十五年度の総会で配分計画を樹てて測量したが、貸付に変更した

ーこれ以上組合に任せられない、本年度全部個人に配分願いたい

遠山組合長　部落懇談会や処坪委員会で諒解を求め努力した、組合は多額の負債をもち解散か再建かの岐路に立ち、再建をはかるべきとの結論に決つた、部落配分で土地は自由に使って頂く、配分測量はことし三〇〇〇鈔でおわる、組合は四千万円の出資で固定資産は一億円をこえており、不安定な状態で固定資産ほどの出資が望ましいが、開拓財産があるためで、個人に所有権をもたせば組合が弱くなる、この財産を組合の財産として解散、合併までもつていきたい

ー開拓財産の権利書は農林中金にいっているのではないか

遠山組合長　個人の考えでよいが、借入れの担保に入つていない、入つていては所有権移転はできない、タダではあげられないので金のない人はあたらないので公庫から土地取得資金を借りて担保に入れることになる

ーいずれにしても配分願いたい

ー柏倉は開拓財産をあてこんで農業構造改善をしている、なぜ配分できないのか理由をききたい、ウラがあるとカングリをもつ

ー配分したら離農するというのか、十三町歩くらいで離農する人は離農させればよい

ー昨年の総会の決議をなぜ変更するのか

遠山組合長　構造改善に支障はない、最終的に配分せねばならないが補助のあるうちに測量をすませたい

ー自分の財産は自分で守るしかない、組合長がやり易いからか

遠山組合長　組合の岐路に立つ、事業計画をみればわかるが組合を維持する財源をどうするか、全部売つて金で配分するのが一番よいが、組合が財産をもつて維持したい、合併は望ましいが多額の負債を自力で整理してからで、財産は組合の存続に関する重大問題でもうしばらく存続するので組合の所有で利用して頂きたい、否決すれば執行部不信任となる

ーこの案が通らねばやめるというのはなぜか

遠山組台長　対外的な信用度は財産がなくてはみなさんの要望に応えられないが、それなら合併した方がよい、役員一致の提案が否決されればリコールにつながる

ここで無記名投票によって採決の結果、六十二票対六十八票、白紙一票で執行部提案はいったん否決となったあと、役員の九票を加えて七十一票にして原案決定とし、遠山組合長は『僅少差だつたことを充分ふまえて対処したい』と述べました。

ついで正組合員海田和一氏と準組合員浅川昭二氏の除名について提案

菅原総務部長　この組合員として履行せず、定款に違反し組合の信用を失ついさせる行為があった

海田和一氏　どういうことが該当するのか、借金はあるが一千万円の負債がどうしてできたか知らせてほしい、明細がない、いま除名をのむことはできない

ー経過はわからないが多額の金を返さないものを除名して貸したものに責任はないのか、海田氏を除名するなら組合長も除名すべきでないか、お互いに信用評価したもので、貸したものも借りたものも同罪ではないか

ー裁判の結果が出るまで除名の必要はない

ー海田氏は返さないとはいっていない、冷静な判断で笑つて解決してほしい、除名は撤回すべきだ

遠山組合長　事務局が取引の経過から該当するとして提案した、反対であれば私も除名なら、わけて決をとって頂きたい

ー抵当権は入っているか

遠山組合長　すでに総会で論議した

ー同じ住民であり、反省するまで面倒をみるべきでないか

遠山組合長　そういうつもりでやってきた、NHK中継所に土地を買却したが支払いは銀行の抵当権を解除しなければNHKから出ないので、組合が代行して銀行の抵当権を解除したところ、弟の名儀で契約したみなさんの承認をえて訴訟となった

ー除名はよくよくのことで、同情論も反対論もあるので決をとってもらいたい

などの論議があって原案どおりに決定、一組合員あたり貸付金最高限度額一千万円を一千五百万円への引上げ案は否決となり、その他は原案どおりに決定して午後六時二十分に閉会しました。

誉牧野裁判

「宮口証言はデタラメ」

道上氏

足寄、陸別両町の農民五十戸の共有財産である「誉牧野」をめぐっての裁判沙汰（本紙前号で報道）によって、同牧野を不動産業者に売った三十八戸の側と牧野に残していこうとする十二戸の側との対立ぶりがうきぼりにされましたが、五月二十四日の法廷で三十八戸側の証人として出廷した宮口政雄氏の証言は全くのデタラメであると道上太郎氏はつぎのように訴えています。

『宮口氏は当時うちへ二度きて十二戸分を売ってほしいとの話しだったがことわった、その私が再三にわたって宮口氏へ電話で売りたいと頼んだというが、大体電話をかけたことがない、道議候補にもなつたほどの人が裁判所で宣誓をしてウソをいえば処罰されると注意されながら、どうしてこんなデタラメをいうのかあきれてものがいえない、臨海興業の桂井とかいう人も買いにきたが私はドナリつけた、私はこれまで売るなどということは絶対にいったことはない、旧地主から牧野として解放をうけたこの土地を農民として守っていくのは当然でこれを山林に地目変更するときには反対したが多数に抗しきれなかった、そのさい農業委員会では牧野として使用する分は優先的に残すことという条件をつけて全員の承諾書をとったので、これによって私はほかへ売るのならこちらへ譲ってほしいとお願いして歩いて十戸分をまとめたがこれをさして私がさも不動産屋にたのまれて土地買い占めをやっているかのようにいう人がいるようだが飛んでもないはなしで、私はなんとか三百町歩を牧野として残したい、ところが法廷では私らの十二戸分がすでに釧路市の抹桑商事に売られているとのことだが、このとおりに（保存登記の権利書をみせて）どこへもいっていない、どんなにウソをついてもいずれはバレるものだから世間の人はわかってくれると思う、私らの方は何億円出しても売らないで営農のためにガンバッていく、三十八戸側との分割については私らの農地の地つづきを私らにということでお互いに話しがついているのに先方がやってくれない』とのことで、法廷での証言とは大きなくい違いをみせています。

「みどりの園」へ寄付は無税に

社会福祉法人北勝光生会（竹内千代蔵理事長）みどりの園陸別更生ホームの落成式は十五日午後二時からおこなわれ、これに先立って同日午後〇時三十分から参会者が現地の施設を見学することにしていますが、緑の高原で酪農によって社会復帰をめざす全道ではじめての精薄者更生事業に各方面から愛の手がさし伸べられており、着々と施設整備がすすめられています。

これまで「みどりの園」への寄付行為は道共同募金会を通じて三%の手数料を引いて無税措置となっていましたが、法改正によって大蔵大臣が認めた社会福祉法人については、共同募金会を通さなくてもよいことになりました。

つまり所定の書式によって社会福祉法人北勝光生会へ直接に寄付した領収証を税務署に提出すれば無税扱いになるので、善意の寄付者にしても、それをうける側にしても好都合となりました。

野菜づくりは長岡一代交配苗で
奥手キャベツ　中生キャベツ　中長なす　トマト　夕顔　キュウリ　スイカ　カボチャ
武藤野菜店へ
足寄町南1区　T 2712

北海道の自然に調和するカナダ生れの多用途ハウス
北海道カナディアンシーダーハウス株式会社
札幌市中央区北七条西20丁目（羽磨木材㈱内）
TEL札幌局(011) 631-4459
取締役社長　羽磨欣一
道東支店　足寄町北3区　T(代)3192
ハウス展示場　札幌市東区北7条東1丁目
道マイハウスセンター内T741-3382

家具と建材
信用は最大のサービス
技術と納期を誇る！
家具　建具　製造販売
住宅内装に新建材を！
佐藤家具建材店
足寄駅前　電話二二三一番

明るいスナック
シャンブル
足寄町南一区　T 二四三九

霊きゅう車　葬儀仏具一式　花輪　生花
㊁自動車
新津はなや
足寄町西三区　T 二六二六

カメラ　八ミリ　写真材料
上野カメラ堂
上野復興
足寄駅通り　T 二五一二

新畳　表替　中古畳　フスマ張替
二段ベッド
敷物一式
マットレス
小林畳店
小林幸三郎
足寄町大通り山口整骨院前　T 二四二八

不動産についての御相談は
調査　売買　あっせん　管理　分譲
代行　登記　損害保険　代理まで
同和、興和火災保険代理店
北海道免許十26
足寄不動産事務所
足寄町本通り三丁目　T 二三四五

お墓を新造、改造する方など
お気軽にご相談下さい（無料）
ただし毎日18時から20時まで（日曜は随時）
吉相墓研究会
主幹　高本修司
足寄町中央五区　高本とうふ店　T 二五〇五

マッカラー
スチール　チエンソー代理店
共立
刈払機各種　電動工具　造林用具
打刃物類（機械迅速修理）
有限会社　鈴木鋸刃物店
足寄町大通り　T 二三〇七